※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）物理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	物理　（数研出版）　リードα　物理　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科学的な自然観を形成し、論理的思考力を養います。
教科書の内容の重要部分を分かりやすく説明し、演示実験・演習問題・身近な具体例をできるだけ取り入れことによって、生徒の理解を助けます。

２　学習の到達目標

教科書の内容の重要部分を分かりやすく説明。身近な具体例をできるだけ取り入れる。
また，演示実験も取り入れ生徒の理解を助ける。復習をしながら無理のないペースで授業を進める。また演習問題にも取り組む。

a. 知識及び技能＝各分野の基本的な公式を知り、その意味するところを理解する。
b. 思考力、判断力、表現力＝身近な現象に対して、原理・法則を適用することができるようになる。加えて、問題を見出して考察し、その内容を適切に表現できる。
c. 学びに向かう力、人間性等＝物理的現象に関する観察・実験において、適切なデータを得ようとし、それが原理・法則にあてはまることを確認しようとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理学的な物事・現象に関する、基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけている。	物理学的な物事・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な物事・現象に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	波と媒質の運動	a： 弦を伝わる波や、気柱の固有振動やドップラー効果について、観察をもとに正しく理解している。 b:気柱の固有振動やドップラー効果の概念について、正しく説明することができる。 c:波の現象や伝搬のしくみについて意欲的に探究し、理解しようとしている。	・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
	波の伝わり方		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
	音の伝わり方		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
	音のドップラー効果		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
2	光の性質	ａ：光の性質、光の干渉と回折、気体の法則・気体分子の運動、気体の状態変化について正しく理解している。 ｂ：光の性質、光の干渉と回折、気体の法則・気体分子の運動、気体の状態変化について正しく説明できる。 c:光の性質、光の干渉と回折、気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化について多くの現象を説明しようとしている。また、実験を通して探究しようとしている。	・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 感想文の提出
	光の干渉と回折		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
	レンズと鏡		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
	気体の法則・気体分子の運動		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
	気体の状態変化		・問題演習レポート ・実験レポート ・定期考査	定期考査 授業態度	授業態度 学習課題 振り返りシート
3	総合演習	a:基本的な分野ごとの問題を解くことができる。 b:文章題を正しく理解し，複合問題を解く力が身についている。 c:様々なレベルの問題を積極的に考察しようとしている。	発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	定期考査 授業態度	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度